議員発案第１号

老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書（案）

上記の議案を別紙のとおり議会会議規則第１４条第１項の規定により提出します。

令和４年（２０２２年）３月２５日

提出者	柏崎市議会議員	持　田　繁　義	㊞
賛成者	同	秋　間　一　英	㊞
同	同	笠　原　晴　彦	㊞
同	同	飯　塚　寿　之	㊞
同	同	星　野　幸　彦	㊞
同	同	佐　藤　正　典	㊞
同	同	樋　口　良　子	㊞

柏崎市議会議長　真　貝　維　義　様

老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書（案）

国民年金法等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律（平成２４年法律第９９号）により、厚生労働省は、公的年金の支給額を平成２５年（２０１３年）１０月から平成２７年（２０１５年）４月まで３．４％減額する改定を行った。また、令和２（２０２０）年度においては、物価の上昇と比べて実質０．３％の減額となっている。さらに、令和３（２０２１）年度は、賃金上昇率がマイナス０．１％になったために、年金も前年度比０．１％削減された。

政府の計画によれば、少子化と平均余命の伸びが予想されるとして、基礎年金は今後３０年にわたり３０％も減額される計画と伝えられている。

この間、消費税が増税され、医療・介護保険料の負担も増え、加えて、長引くコロナ禍の中で、公的年金の削減は暮らしへの計り知れない困難をもたらす。

また、最近では、日常の食生活を切り詰めて暮らさなければならない深刻な状態も見られ、生活保護に移行する高齢者が増えている。受け取る公的年金のほとんどが消費に回っていることから、公的年金の削減は高齢者の購買力を低下させることになり、地域経済にも少なくない影響を与える。

このような高齢者の危機的な状況を受け、厚生労働省は基礎年金改善の検討を始めている。よって、高齢者も若者も安心して暮らしていけるように、次の事項について要望する。

記

高齢者も若者も安心して老後を暮せるように、老齢基礎年金等の支給額を改善すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和４年（２０２２年）３月２５日

柏崎市議会

理由

老齢基礎年金の改善により、高齢者も若者も安心して老後を暮らせるようにするため